



つる太郎
MK II
20 ton
ヨシナガ

つる太郎 MK-II

自動玉外し装置



YOSHINAGA MANUFACTURING CO.,LTD.

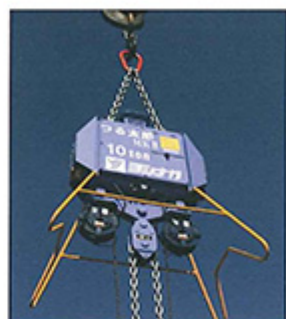
現場の声から誕生した……

つる太郎 MK-II 自動玉外し装置

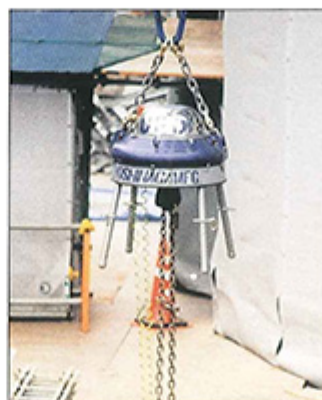
従来の“玉外し”は、足場の悪い高所での作業が多く、常に危険と隣り合わせの状況にありました。また、現場では安全性と同時に作業効率も大きな問題となっていました。

そこで新たに開発されたのが、自動玉外し装置「つる太郎MK-II」です。離れた安全な場所から簡単に操作できる無線方式の採用と同時に、基本設計から研究し直された独自の安全機構が取り入れられています。

作業時間の短縮、安全性の向上など、この「つる太郎MK-II」は現場で必ずお役に立ちます。



●「つる太郎MK-II」は鉄骨建方工事だけでなく、あらゆる構造物の運搬に幅広く活用されて、安全確保と省力化に役立っています。



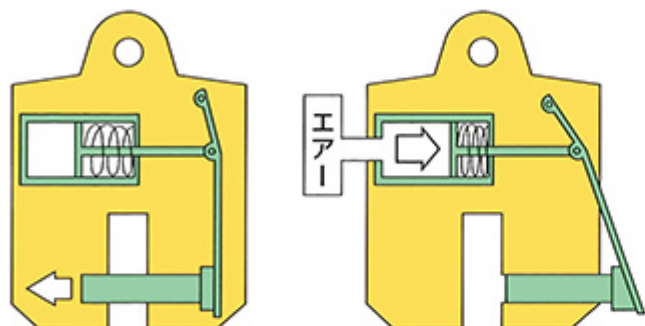
●シャックル部分に3つの安全設計。スプリングでピンを常時挿入方向に保持、またピン抜け止め機構や手動解放機構も備えています。すべてが現場の安全要求に答えた結果です。

各地で信頼されパワフルに活躍する つる太郎 MK-II

“エア-メカ”の導入で、抜群の安全性を実現!

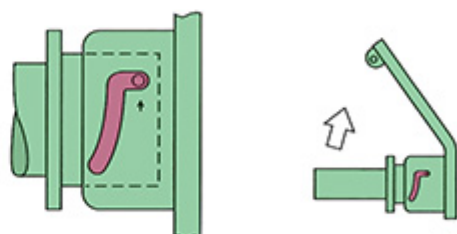
無線方式(誤作動防止の2個ボタン機構)で遠隔操作。作業効率も飛躍的にアップ。

玉外しがより安全に…



「つる太郎MK-II」の大きな特長のひとつは安全性。そのポイントは独自のスプリング・メカ及びピン抜け止め機構の開発。これはシャクルピンがスプリングによって常に挿入方向に保持されている為、吊揚運搬中の万一の状況にも心配はいりません。

ピン抜け止め機構



通常ピンに横方向の力が加わることはありません。しかし何らの原因でピンに横方向の力が加わってもピンが抜けられない安全装置です。ピンが横に移動しようとしてレバーを押し、レバーは支点を中心に回転しようとする。この時結合ピンがレバーの溝にはまっている為に、相対的な力が働いてピンは動くことはありません。ピンを抜きたい時はレバーをさきへ引いてください。(手動解放機構)

無線操作で楽々作業



無線送信機は重さ0.5kgの押しボタン操作。無線は混信誤動作を防ぐ方式を採用し、無線作動範囲は50m、連続30時間の使用が可能。その上、「押しボタン2つ同時押し操作」システムによっても誤動作を防ぎます。

堅牢な本体と小型のシャクル



「つる太郎MK-II」のシャクルは軽量・小型。本体の強度も充分でパワフルに働きます。

バッテリー内蔵で電源不要



制御ボックスにバッテリーが内蔵されているので電源はいりません。充電時間は約8時間、二日おきに一晩充電すれば大丈夫。またエア-充填は1回約1分。一度のチャージで50回の連続使用ができます。

重量に合わせた豊富な機種



鉄骨等の重量に合わせて10t~30tと豊富に揃っているのので、選んでお使い下さい。さらに大荷重の場合や、特殊な使い方をする場合には特注品をご用意ください。又、鉄骨のボルト穴をそのまま利用することもできるので事前にご相談下さい。

見やすい回転灯



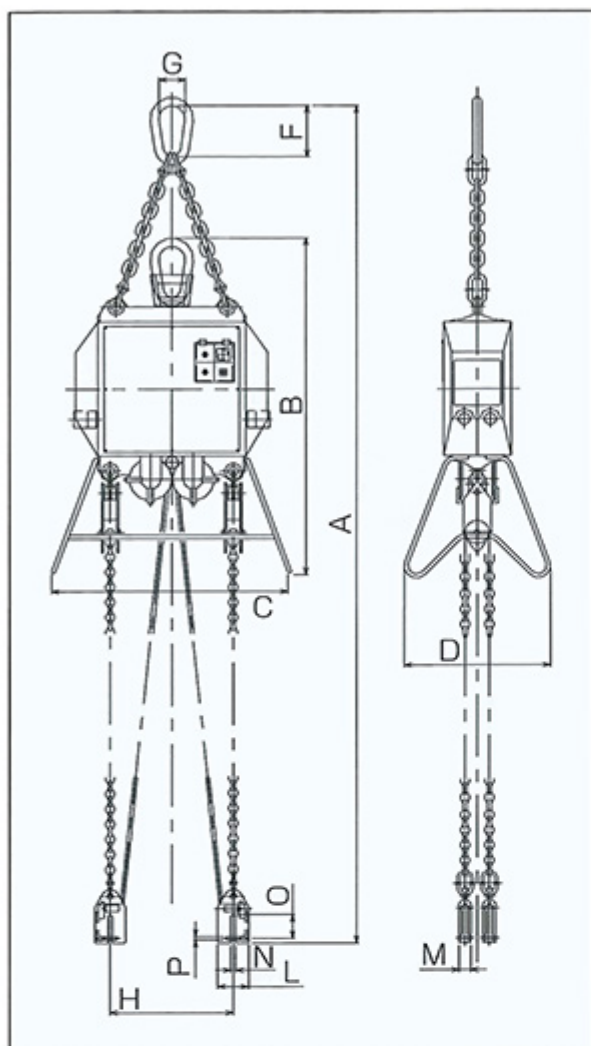
制御ボックスにそれぞれのシャクルと同じ色の回転灯を装備。通信機の押しボタンも同色で表示されていてひと目でわかります。シャクルが解放されると回転灯が自動的に点灯し、シャクルの抜けたことを知らせます。

幅広い用途

建築鉄骨の建方はもちろんのこと、それ以外にもあらゆる構造物の運搬に広くご活用頂けます。大型海洋構造物、組立現場の運搬、橋梁の組立現場、土留材等にお役立て下さい。

●ご用命頂ければ特殊用途に応じた標準品以外のものも製作いたします。

寸法図



取り扱い・保守

- 規定以上の質量の物を吊らないで下さい。
- 制御ボックス本体には強い衝撃を加えないで下さい。
- 摺動部とピン部分には油切れのないようにして下さい。
- 長時間使用しないときは屋内に保管して下さい。
- 取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使い下さい。

仕様

型 式		YTW-10R		YTF-20R		
主仕様	最大吊り荷重	t	10	20		
	吊点数×吊点荷重	t	2×5	4×5		
	操作方法		無線操作式			
	総質量	kg	310	470		
制御ボックス	吊り上げ時総全長 (A)		4,820	5,500		
	全高 (B)		1,730	2,000		
	全幅 (C)		1,220	1,400		
	奥行 (D)		850	850		
	マスターリンク長さ (E)		203	305		
	マスターリンク内幅 (G)		101.6	152		
	シャックル吊り点間隔 (H)		140	720		
	自動シャックル	全幅 (L)		168	180	168
奥行 (M)			70	70	70	70
開口幅 (N)			30	30	30	30
開口奥行 (O)			140	140	140	140
ピン径 (P)			20	20	20	20
安全装置			シャックルピン抜け止め機構			
単体質量		kg	10	15	10	15
空圧システム		エアータンク容量	L	10		30
	使用圧力	MPa	0.98 (9.9kg/cm ²)			
	安全装置		安全弁			
	使用回数	回	約 50回/1チャージ			
	電源		24V 24Ah 蓄電池			
フレアッソーン	電動機	kw	0.4			
	使用圧力	MPa	0.98 (9.9kg/cm ²)			
	電源	V	100 (50Hz/60Hz)			
	単体質量	N	150			
無線(附属送信機)	到達距離	m	約 30 (電波の届く距離)			
	使用周波数	MHz	230			
	充電電池	V	DC 4.8 Ni-Cdバック			
	使用時間	時間	約 25 (連続)			
	充電時間	時間	約 4			
	質量	N	4.4			



吉永機械株式会社

YOSHINAGA MANUFACTURING CO., LTD.

本社：東京都墨田区緑4-4-3
 〒130-0021 TEL: 03-3634-5651(代)
 FAX: 03-3632-0562
 千葉工場：千葉県白井市名内1-3 白井第二工業団地
 〒270-1407 TEL: 047-497-1241(代)
 FAX: 047-497-1243
 茨城機械ヤード：茨城県稲敷市東大沼西山62
 〒300-0616 TEL・FAX: 0299-79-0903
 URL <http://www.yoshinaga.co.jp>